

令和3年第9回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 落合 祥二

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|--|---|-------|
| (1) 高齢者福祉タクシー利用助成制度の利用者目線の改善について | <p>① 対象者数及び申請者数並びに対象者数に対する申請者数は何%か。</p> <p>② 発行した割引証数及び利用枚数並びに発行した割引証数に対する利用枚数は何%か。</p> <p>③ このままの制度で、今後、利用者は増えていくと思うか。また、高齢者の免許返納は増えると思うか。</p> <p>④ 来年度は、利用者の増を目的に初乗り券だけでなく、500円や100円券も発行できないか。そして、タクシーだけでなく、路線バス、馬島・佐合島航路、買い物送迎サービスでも利用できるようにできないか。そうすることによって、利用者増につながるとともにグループでの相乗りが増えると考え。また、一人1回の限度額を2,000円～3,000円程度に定めれば、過度の使用は防げる。一方、タクシー会社は現状の電話受付体制で対応できるため、受付や配車に関して装備などを導入する必要はない。利用が増えればタクシー会社の売上アップにつながる。</p> <p style="padding-left: 2em;">民業圧迫にならないこの方法を実験的に行ったらどうか。</p> | 町長 |
| (2) 田布施駅及び駅周辺の整備に関するJR西日本との任意の協議会の設置について | <p>近年、鉄道駅のバリアフリー化が求められている。</p> <p>現存の田布施駅は62年前の1959年(昭和34年)に建設されており、老朽化している。</p> <p>また、町の玄関である田布施駅前には活気を欠いて久しい。</p> <p>一方、9月定例会で「令和6年度までに地域公共交通計画の作成が義務づけられている。」旨の答弁があった。</p> <p>来年度、豆尾踏切及びその周辺道路が整備される。これに伴い、田布施駅及び駅周辺の環境整備に向けてJR西日本との個別協議でなく、地域の関係者を含む任意の協議会を設置し、町民に親しまれる駅づくり(駅周辺を含む)を推進してはどうか。</p> | 町長 |

質問者2 瀬石 公夫

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-----------------------|---|-------|
| (1) 来年度の国民健康保険税率の見直しは | <p>コロナ禍や景気の低迷により、仕事がなくなった。お金がない。生活が苦しい。など、町民の生活は厳しさを増している。この苦しみは自己責任と言えるのでしょうか。国保加入者は自営業者、年金生活者、無職者や非正規労働者などが加入しており、コロナ禍や景気の波の影響を受けやすく、厳しい生活を余儀なくされている。国保税は無収入でも平等割、均等割が課税され生活を大きく圧迫することになる。</p> <p>平成24年度に保険給付費の増加を見込み、国保の税率を大幅にアップした。その後、保険給付費は14億円台で推移していたが、平成29年度からは13億円台となり、保険給付費は減少している。また、令和3年度10月分までの保険給付費を見ると、前年度より2千万円減少している。</p> <p>こうしたことで、令和2年度末基金残高は118,599千円、令和3年度</p> | 町長 |

| | | |
|--------------------|---|----|
| | 基金積立予算額は50,009千円であり、よって令和3年度末基金残高見込額168,608千円となる。こうした現状を見ると、来年度の国保税は下げても十分やっつけていけると思うが、町長の所見を尋ねる。 | |
| (2) 町道に架かる橋梁点検について | <p>国土交通省中国地方整備局は山口県内の道路の昨年度点検結果を公表した。橋梁は点検した3190橋のうち4段階の判定区分で問題のない「健全」が32%の1023橋にとどまり、2橋は最も深刻な「緊急に措置すべき状態」と報告された。</p> <p>本町でも橋梁点検が行なわれており「Ⅰ：健全」、「Ⅱ：予防保全段階」、「Ⅲ：早期措置段階」、「Ⅳ：緊急措置段階」に区分されるが、点検された結果に基づくデータを生かした戦略的、効果的な修繕などに取り組む必要があると思う。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町内の橋梁の数は、また今回(2回目)の橋梁点検の進捗状況は。 2 今回(2回目)の橋梁点検4段階の判定状況は。 3 高齢化橋梁が多いが、予防保全、早期措置、緊急措置と判定された場合の対策は。 | 町長 |
| (3) 町の未利用地の利活用について | <p>本町の人口予測推移を見ると2025年13,728人、2035年11,944人、2045年には10,154人に減少する。とともに、高齢化が急激に進行し、財政の硬直化や税収の悪化が考えられる。</p> <p>こうしたことから、町の未利用地で将来的に利用計画の無い土地について利活用することは喫緊の課題である。民間に売却すれば固定資産税や住民税も入り、草刈り等の管理費も不要となるのではないかと、そのうえ人口増も考えられる。不必要な町有地は売却し町の活性化に資することが賢明ではないか。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町の未利用地は何筆、何㎡あるか、その内売却できるような土地は何筆、何㎡あるか。 2 波野団地北や麻郷の旧縫製センター跡地には今も老朽化した建物があり美観的にも問題がある。更地にして売却しては。 3 税収増、土地の管理費の不要、人口増や経済的あおり効果等を考えると安価でも売却しては。 | 町長 |

質問者3 高月 義夫

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|--------------|---|-------|
| (1) 鳥獣被害について | <p>年々増加する鳥獣被害。本年特にイノシシにおける被害が増大。私の地元城南でも、イノシシによる被害の相談を受けている。</p> <p>防護柵を設置しても、柵の下の土を掘ってなかへ侵入し荒らしている状況で、防護柵の内側にもう一度自費で電気柵を設置しなければならないようだ。柵の補助金は年一回、材料費の3分の1、上限2万円まで、補修や取替は対象外である。この補助金も、各市町でずいぶん開きがあり、田布施町は最も低い水準である。この補助金の原資は、農林水産省からの「鳥獣被害防止総合対策交付金」である。農林水産業等に対し、被害を及ぼす①鳥獣の捕獲、②被害防除、③生息環境管理等の取組を総合的に支援する。この交付金の採択要件は、各市町村で「被害防止計画」が作成されていることである。そこでお尋ねする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 田布施町における農産物の、鳥獣による被害額の推移は？ 2. 1年に捕獲される個体数の推移、捕獲された鳥獣の処分方法は？ | 町長 |

| | | |
|------------|---|----|
| | <p>3. 第6次総合計画にも被害防止対策を進め、とあるが具体的施策は？</p> <p>4. 田布施町の「被害防止計画」策定されているか？</p> | |
| (2) 観光について | <p>コロナ禍の減速を感じる今、経済を循環させるという事で、観光も活発化してきた。今までの一年半、疲弊してきた社会に活気をもたらす、明るい兆しである。十分コロナ対策をとって、進められればと思う。</p> <p>現在、田布施町の観光は何があるのかと考える。歴史的な遺跡、自然、人。様々なことが考えられると思うが、観光の発展は田布施を知ってもらい、イメージアップの大変良い機会だと感じている。</p> <p>第6次総合計画にも、観光資源の掘り起こしや古墳や史跡などを新たな観光資源とするための調査・研究を行うとある。</p> <p>田布施町には多数の古墳群があり、現在各所で行われている遺跡の発掘調査も、ある意味貴重な観光資源となる。そこでお尋ねする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 田布施町における観光とは？ 2. 第6次総合計画の観光についての具体的実施計画は？ 3. 古墳や史跡の周辺整備（草刈りなど）は誰がおこなっていますか？ 4. 観光協会へ毎年町費を支出しています。町が観光協会に求めるものとは何でしょうか？ | 町長 |

質問者4 伊村 渉

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|---------------------------|---|---------|
| (1) 選挙の投票率を上げる | <p>今回10月の衆議院選挙において、山口県の投票率が全国最下位であった。これは県民の一人として問題がある。田布施町の投票率が何パーセントか。50パーセントを下回るようではとても政治に関心があるとは思われない。今回の選挙結果を色々分析し、どうしたら投票率を上げることができるか、年代別の投票率がどうであったか、又町民の政治に対する意識改革どうすれば出来るか。本町から二人の総理大臣が誕生した歴史ある田布施町を元気にするきっかけ作りをする為にも投票率を上げて行く年間計画を考えてみてはどうか。</p> | 選挙管理委員長 |
| (2) 新麻里府公民館の組織づくり | <p>新麻里府公民館の場所がほぼ決定した。ご尽力頂いた皆さんに感謝致します。地域住民の悲願であった公民館、又災害から命を守る避難場所ともなる所です。麻里府地区は商店、コンビニは在りませんし、小学校も廃校になりありません。唯一保育園があります。これから公民館を中心とした新しいコミュニティ「サークルネットまりふ」の組織をつくり、「ささえあい麻里府」「婦人会」「老人会」「山椒会」「漁協」「農業生産者」と各自治会等の体制を整えて、建物が完成したら直ぐに活動が出来る事を目標にしています。この新しい麻里府モデルに予算をお願いする。</p> | 町長 |
| (3) 小売り・飲食・サービス業の方へ更なる支援を | <p>これまでの国、県、町の支援に対する御礼を頂きました。それで11/20頃現在状況を商工会で、電話による聞き取り調査をして頂いた。回答業者27業者でコロナ前と比べ、売り上げは低下している業者がほとんどである。少しずつだが回復している業者も数件あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 商品の入荷（仕入れ）がスムーズに行かない為、個人負担が増加 ※ 補助金があると助かる ※ 「がんばれたぶせ」等の補助金を頂きありがたかった。 <p>この様な回答でした。これからも引き続き支援をお願いしたい。</p> | 町長 |

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|----------------------------------|---|-------------------|
| <p>(1) 町職員を地域づくりの担い手に</p> | <p>役場の職員は住民サービスを旨としますので、町内の実情把握は欠かせませんが、デスクワークだけでは、その把握には限界があります。実情把握の為には、地域で職員の顔が見える活動がほしいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 4割居るといわれている町外からの出勤者が、そういった町内の実情把握するために町としてはどんな手立てを講じていますか。 2 周辺地区の少子高齢化が進む所では、町内のいろんなことに精通し、金の出どころを知っている退職者の出番だと思っています。各地区に、退職者を支援員として再任用できませんか。また、新規採用者には、一定期間実情把握のために公民館への配置はできませんか。 3 地区からの要望を待つのではなく、各課のカウンターに置いてあるパンフレットを職員が持参し、これはと思う地区回りをしませんか。 4 課をまたいだ形で、通勤時や外での作業時等を通じ、毎月、全ての町道や山林、不耕作地の点検し、地図とチェック表を作成して職員みんなが町内全域の実情を把握できるよう共有し、優先順位をつけませんか。 5 町をPRするために、HPだけでなくSNSを使って発信しませんか。 | <p>町長</p> |
| <p>(2) 奨学金条例の改正を</p> | <p>令和2年度基金運用状況の田布施町奨学金基金の貸付者数を見ますと、昨年度末現在で、とうとう0人となっています。更に、収支状況を見ますと、昨年度末現在高は5,500万円を超えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 要件を満たす外国人住民の奨学生は、ここ10年間で何名いますか。 2 町内に居住して就業し、返還金の半額の免除を受けた奨学生は、過去10年間で何名いますか。 3 町の奨学金をできるだけ多くの学生が利用し、有為な人材を輩出するために、町の奨学金について半額を減免し、更に町内に居住して就業する場合は、残り半分も減免する、また、奨学金の基金は、町からの持ち出しになっていますが、それだけでなく、ふるさと寄附金等の寄附金も加えて原資にする、更に、町の奨学金を他の奨学金との併用を可にするよう奨学金の条例を変えませんか。 4 奨学生が地元に戻ってこられるよう、町内の事業所等に雇用の確保を要請できませんか。 | <p>町長 教育長</p> |
| <p>(3) 町内の残土等の盛土は安全に管理されているか</p> | <p>先般、静岡県熱海市の盛土の被害は、土石流による多数の死傷者と建物破壊を伴うもので、かつてない規模の豪雨による自然災害とずさんな盛土が放置されていた人災の両面から注目を浴びました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 上組自治会内に残土処理場がありますが、過去2回も基準値を超えるヒ素が検出され、検査方法が変わったと聞いています。どのように変わり、今現在、どのような結果となっていますか。また、熱海の土砂災害後、調査に入っていますが、その結果はどうでしたか。 2 同じ処理場で、県外からの搬入残土については検査が入り、県内からの残土には検査が入っていません。安全が確認できていますか。 3 町内に上組以外に条例で規制できる残土処理場はありますか。また、千平米未満の規制できない個人の残土処理場について、町内ではどこにあるかを把握し、安全が確認できていますか。 4 全国の例を見ますと、規制の網の目をくぐって、残土だけでなく、産業廃棄物の投棄もあるかのように聞いていますが、町内にそんな所はありませんか。 | <p>町長</p> |

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-----------------------|--|-------|
| (1) 地方創生の拠点施設について | <p>町は第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定している。委員会において委員からは様々な案が出されるがすべて実行できるものでもない。具体的取組(アクションプラン)を実行するためには拠点施設が必要ではないか。</p> <p>下松には市民交流拠点施設「ほしらんど くだまつ」があり、多目的ホール、作品展示プロムナード、歴史民俗資料展示、カフェなどが備わっている。</p> <p>これからの地方創生の拠点施設には、6次産業の推進(JA、商工会、農家、地元高校生による商品開発)と地域振興。農産物、特産品の販売。移住、定住促進に向けた情報発信や空き家案内など総合案内所。交流館や河川公園等の施設の活用。買い物困難者への宅配サービス。子育てサポート。公共交通の小さな拠点。健康長寿に関する情報発信。地域の観光案内。防災拠点、ヘリポート(H)。ジビエ等の利用、地元食材や農高が開発した商品を出せるレストラン。オストメイト等が設置されている多機能24時間トイレ。電気自動車用EVステーション。などが集約された施設を創ってはどうか。</p> | 町長 |
| (2) 10年後を見据えた農村整備について | <p>町は少子高齢化により農村地区の農業人口も減少している。新たな担い手も期待は薄く、これから先の農村維持も深刻な状況になるのではないか。</p> <p>圃場整備事業も進み大型機械の入るところは耕作されるが、条件の悪いところは耕作されず、放棄地も増えるのではないか。中山間、棚田などは中山間地域等直接支払交付金で賄え、農地・水保全エリアも多面的機能支払交付金で賄える。しかし、エリアを外れた2級河川の法面の草刈りや生活道の草刈りなど近隣の耕作者が善意で整備しているが、10年後はどうなるのか。空き家周辺や高齢で動けない方の周辺整備、河川の法面草刈りも何か町独自の制度を策定し整備を行うべきだと思う。</p> <p>また、農地活用手段として「農地ナビ」がwebで閲覧できるが、先日、会計検査院は更新がされていないと指摘している。町内の農地ナビを見ても現状と合わないところが見受けられるが、更新は難しいのか、そもそも必要なのか、利用されているのか。担い手も中間管理機構などを活用し町独自の制度も策定し確保するべきではないか、以上ご質問致します。</p> | 町長 |

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-----------------|---|-------|
| (1) 人にやさしいまちづくり | <p>豆尾踏切から田布施農工高校(町道御蔵戸吉水線)は、地域住民の生活道路として、また、小中高校生の通学路として多くの方が利用しています。特に、朝、夕方の通勤・通学時は、自動車、自転車、歩行者が多数通行しますが、道路の幅員が狭く、また歩道もないため危険な状況が日常化し、長年の懸案事項となっています。</p> <p>豆尾踏切の改修工事が来年度から着手されますが、田布施駅から豆尾踏切、そして田布施農工高校までのエリアを総合的かつ包括的に計画・検討し、歩行者等の安全とスムーズな交通移動の確保のため、道路の拡</p> | 町長 |

| | | |
|-----------------------|--|----|
| | 幅、歩道の整備などできないかお尋ねします。 | |
| (2) 町の目指す未来を問う | <p>令和3年3月議会で、第6次総合計画の目標や重点的に実施していく施策は何か等質問しました。その中で、各施策の実施状況については、検討委員会を年内2回開催し、進捗状況や課題等を協議、その結果を次年度以降に反映していくと答弁されました。</p> <p>総合計画の具体的な実施内容を示した実施計画については、関係各課のヒアリングも10月に実施され、3年間のローリングや新事業の提案が行われたと聞いています。</p> <p>また、田布施農工高校生、町若手職員で構成されるVIEW会議も開催され、その中で「町の未来」について協議をされたと聞いています。</p> <p>そこで、今年度の検討委員会、VIEW会議、実施計画ヒアリングの実施状況、その中で協議された主な事項、課題や反省点、そして、それらを踏まえ令和4年度は、どのような事業を重点的に行うのか、新規事業はあるのか、お尋ねします。</p> | 町長 |
| (3) 子ども医療費助成制度の拡充について | <p>子ども医療費の助成は、経済的負担の軽減とともに児童の疾病の早期発見、治療など、広く子育て世代に効果をもたらすものであり、県内の自治体においても子育て施策の目玉のひとつとして取り組んでおられることと承知しています。本町では、昨年度、未就学児童の医療費助成に係る所得制限を撤廃したのに続き、本年度は、所得制限はあるものの助成の対象を中学修了まで引き上げられました。県内の自治体の状況を見たとき、対象年齢の引き上げや所得制限の撤廃という点で、まだまだ後塵を拝しているのが現状であると思っています。子育て世代を本町に呼び込むためにも、子ども医療費助成制度のより一層の拡充に取り組む考えはないかお尋ねします。</p> | 町長 |

質問者8 神田 栄治

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|----------------------------------|---|-------|
| (1) 町ぐるみの健康づくりを目指して「健康タウン(町)宣言」を | <p>高齢化が進む中、様々な疾病を抱えるリスクが増大し、健康寿命をいかに伸ばすかが、いきいきと豊かな人生を送れるかの重要なカギになっております。町では、令和3年3月より第2期田布施町健康増進計画を策定し、いきいき百歳体操の実施やたぶせ茶屋の開設など、引き続き健康づくり対策に精力的に取り組んでおり、要支援・要介護認定者数が減少傾向にあるなどの成果が出ている反面、これまで以上の取組が必要な項目が多々あります。また、国民健康保険における一人当たりの医療費は年々増加し、全国平均を大きく上回っている状況です。平均寿命では、山口県は男性が全国30位、女性が31位と更なる努力が求められます。</p> <p>そこで、健康づくりの起爆剤とすべく、健康タウン(町)宣言をし、健康づくりに取り組む町民を増やせればと思いますが、如何お考えでしょうか。また、健康づくりの取組では、重要業績評価指標 KPI を用いて、PDCA サイクルに則った事業展開が必要かと思いますが、町の取組方法と、取組者を増やす方策についてお尋ねします。</p> | 町長 |

| | | |
|--|--|-----------|
| <p>(2) 人口増加と美しい景観形成を目指した町の緑化推進について</p> | <p>人口減少対策は、わが町の最重要課題の一つです。特効薬があるわけではなく、各種政策を複合的に、集中して実施することが必要ですが、その一環として「町の緑化」を提案します。その根拠として、事例を3つ紹介します。1つ目は、15年間で定住人口を1.24倍に増やした千葉県の流山市ですが、流山未来戦略4条件の一つに、「良質な住環境」の維持向上を掲げ、住環境維持の鍵は「緑」にあるとしています。2つ目は、東京都の田園調布です。ここは、街路がわざと湾曲されていますが、これは歩行者の目に常に緑が映ることを目的にしているとの事でした。3つ目は、東京品川駅近くの白金です。高級住宅地の条件として挙げられた5項目の一つが、緑でした。出生率が低迷する中、人口増を図るには、転入者を増加させるしかありません。いかに、田布施に住みたいと思っただけか。田布施町人口ビジョンの3つの基本的視点に、「安心して住み続けられる良好な生活環境の確保」がうたわれており、緑化は、この項目に該当する施策であり、一番手っ取り早い再開発の方法でもあると思いますが、ご見解をお伺いいたします。</p> | <p>町長</p> |
|--|--|-----------|